

II

世界史

問題は、次のページから始まり、I、II、III、IVの4題ある。

解答は、問題ごとに与えられた指示にしたがって、それぞれ答案紙の所定の欄に書きなさい。

世界史 問題 I

次の文章をよく読んで、下記の問に答えなさい。

この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。

この部分につきましては、 著作権の都合により公開いたしません。

(石見清裕『唐代の国際関係』山川出版社 2009 年, pp.10-12 一部改)

問 1 下線部①について。

- a) 「東西対峙の形勢」とあるが、このような形勢に至る以前、5世紀の前半に華北を統一した政権(王朝)の名、この政権を建てた民族の名、創建者の氏族名を答えなさい。
- b) 上記の政権が統一した華北地方が「東西対峙の形勢」に至る過程を簡潔に説明しなさい。

問 2 下線部②について。

- a) 「外戚」とはどのような立場か、簡潔に説明しなさい。
- b) 中国史において「外戚」は国政を混乱させる要因の代表のように言われることが少なくないが、それはどのような原因によるものか、例を挙げて説明しなさい。

問 3 ~ について。

- a) ~ の「乱」の名を答えなさい。
- b) これらのうち、 と は宗教団体とのかかわりが本文中に明記されているが、この2つ以外に宗教団体と関わりのある「乱」は少なくとも2つある。該当する「乱」を番号で答え、それぞれが関係する宗教団体の名称を書きなさい。

問 4 ・ について。

- a) に当てはまる語句を答えなさい。
- b) に入るべき、隋末と唐末の反乱の動きの違いの背景となった社会情勢の変化について簡潔に答えなさい。

問 5 ・ について。

- a) これらの空欄に当てはまる語句を答えなさい。
- b) が最終的に解決したのはいつのことか。王朝名と支配者(皇帝)の名で答えなさい。
- c) との関わりが深い中国歴代王朝の首都を3つあげなさい。またこれの完成がその後の中国史に与えた影響について簡潔に説明しなさい。

世界史 問題Ⅱ

次の文章をよく読んで、下記の問題に答えなさい。

この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。

(J. R. マクニール, 海津正倫・溝口常俊訳『20世紀環境史』名古屋大学出版会, 2011年所収, 一部改)

問 1 下線部①に関連して、次の問に答えなさい。

- (1) ポルトガル人が航路開拓を進めたことで、ヨーロッパの人びとの世界はアメリカ、アジア、アメリカへと広がった。このうち、15世紀末にインド西岸のカリカットに到達した人物は誰か。
- (2) 15世紀初頭の中国で、イスラーム教徒の宦官である鄭和に東南アジアからアフリカ沿岸まで遠征させ、朝貢をうながした皇帝は誰か。

問 2 下線部②に関連して、17世紀以降イギリスによる植民地化が進んだインドでは、経済的な疲弊と植民地支配への反発から19世紀半ばにインド人傭兵による大反乱が生じたが、それによって滅んだ国を何というか。

問 3 下線③に関連して、(1) 蒸気機関車、(2) 蒸気船、(3) 磁石式電話機を発明、あるいは実用化したのは誰か。それぞれ適する人名を次の①～⑧のなかから選び、番号で答えなさい。

- | | | |
|-------------|---------|------------|
| ① アークライト | ② エディソン | ③ スティーヴンソン |
| ④ ダービー | ⑤ フルトン | ⑥ ベル |
| ⑦ モース(モールス) | ⑧ ワット | |

問 4 下線部④に関連して、19世紀から20世紀の転換期、欧米各国の植民地政策はこの動きを加速した要因の一つである。このうち、イギリスがインド洋の支配権確保のために行なった帝国主義政策を3C政策というが、それはイギリスの支配下にある地域の3つの都市を結びつけるものであった。この3つの都市名を答えなさい。

問 5 下線部⑤に関連して、革命を主導したレーニンの死後、共産党書記長として、ソ連一国だけで社会主義建設ができると主張し、重工業化と農業の集団化・機械化を指示した人物は誰か。

問 6 下線部⑥に関連して、次の①～④のうち、ファシスト党の政権掌握後の出来事として誤っているものを一つ選び、番号で答えなさい。

- ① アルバニアを保護国化する。
- ② 教皇庁(ヴァチカン市国)の独立を認める。
- ③ 国際連盟の常任理事国となる。
- ④ ユーゴスラヴィアと協定を結び、フィウメを併合する。

問 7 下線部⑦に関連して、大恐慌(世界恐慌)によって世界的に資本の流れが停滞した結果生じた経済上の変化のうち、ブロック経済について簡単に説明しなさい。

問 8 下線部⑧に関連して、1947年10月に成立した、関税などの貿易障壁の撤廃をうながす「関税と貿易に関する一般協定」の略称を何というか。

問 9 下線部⑨に関連して、次の問に答えなさい。

- (1) アメリカ合衆国による戦後西ヨーロッパ諸国の経済復興計画を何というか。
- (2) アメリカ合衆国や西欧諸国を中心としてつくられた集団安全保障機構を何というか。

問10 下線部⑩に関連して、次の問に答えなさい。

- (1) 1949年にソ連と東欧諸国が中心となって設立した経済協力機構を何というか。
- (2) ソ連と東欧諸国による集団安全保障機構であるワルシャワ条約機構(東ヨーロッパ相互援助条約)は、何年に発足したか。

世界史 問題Ⅲ

次のA～Eの文章は、19世紀のヨーロッパの歴史にかかわる史料の抜粋である。
よく読んで下記の問題に答えなさい。

A

B

この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。

C

D

E

(歴史学研究会編『世界史史料』第6巻所収、一部改)

問 1 A～Eの史料は、それぞれ次の1～5のどれに当たるか、番号で答えなさい。

- 1 エミール・ゾラ「私は弾劾する」
- 2 コブデンの演説
- 3 神聖ローマ皇帝フランツ 2世の退位宣言
- 4 神聖同盟条約草案
- 5 パリ条約

問 2 A～Eの史料を年代順に並べたとき、次の(①)～(④)に入る史料は何か、答えなさい。

(①)⇒(②)⇒(③)⇒D⇒(④)

問 3 史料Aに関して、これを提案したロシア皇帝の名を答えなさい。

問 4 史料Bの下線部に関して、結成された同盟の名を答えなさい。

問 5 史料Cの下線部に関して、この人物にまつわる事件について簡潔に述べなさい。

問 6 史料Dに関して、この史料に帰結した戦争を開始するにあたって、ロシアが口実としたことは何か、簡潔に述べなさい。

問 7 史料Eの下線部に関して、この人物らが主導した同盟が廃止を求めた法律について簡潔に述べなさい。

世界史 問題Ⅳ

東南アジア地域を経由する海路による東西交流・交易は、紀元前後から盛んにおこなわれるようになった。紀元前後から5世紀ごろにかけての東南アジア地域は東西交流・交易にどのように関わっており、またそれからどのような影響を受けていたと考えられるか。以下の語を参考にしながら350字以内で説明しなさい。(解答の文中にこれらの語を使ってよいが、すべてを使う必要はない。)

日南郡

林邑

扶南

オケオ

インド

ローマ